

平成 30 年 6 月 25 日現在

機関番号：26402

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2014～2017

課題番号：26285046

研究課題名(和文) 経済的脆弱性に関する包括的理論的分析

研究課題名(英文) A comprehensive analysis of economic vulnerability

研究代表者

吉原 直毅 (YOSHIHARA, NAOKI)

高知工科大学・経済・マネジメント学群・客員教授

研究者番号：60272770

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 11,500,000円

研究成果の概要(和文)：市場経済システム下での経済的脆弱性問題を、関係的脆弱性と絶対的脆弱性へと分類し、さらに前者に関しては、搾取的社会的抑圧問題と社会的排除的な抑圧問題に分類し、それぞれの概念を整理した。特に、搾取概念を哲学的観点から再構成し、オペレーショナルな定義として定式化し、その公理的特徴づけを行った。更に、その概念を用いて、国際経済における南北間の不均等交換関係の理論的考察を行った。絶対的脆弱性問題に関しては、心身障害者のタイプごとに異なるニーズを集計し社会政策へと対応させる社会的選択ルールの性質を理論的に考察した。これらの研究成果を纏めた学術論文は、国際的な審査制査読誌に公刊されている。

研究成果の概要(英文)：Consider the issue of economic vulnerability in market economic systems. Economic vulnerability is classified into the absolute vulnerability and the relational vulnerability. Furthermore, the latter is even classified into the type of exploitative social oppression and the type of social exclusion. All of these notions are formally defined and examined its philosophical and economic implications. In particular, the notion of exploitation is examined philosophically and defined mathematically. Then, applying this notion to the analysis of unequal exchange between the north and the south nations in international economies. Regarding the absolute vulnerability, we consider social choice problems to aggregate the mutually different needs among different types of disables into a proper social policy. These works are published as academic papers, which have also been appeared in some well-established peer-review journals.

研究分野：厚生経済学

キーワード：経済的脆弱性 関係的脆弱性 搾取関係 多様なニーズ充足に関する評価基準 国際間不等価交換

1. 研究開始当初の背景

市場的競争メカニズムを核とする現代的経済システムは、経済的効率性を満たす資源配分をもたらすという正の側面を持つと同時に、負の諸問題の存在も避ける事が出来ない。それらはいわゆる市場の失敗問題や分配の不正問題には分類され得ない種類の多様な社会問題を含む。例えば、社会学や政治学では大きなテーマとなっている「社会的排除(social exclusion)」の問題等、何らかの意味での「経済的弱者」が被る脆弱性(vulnerability)に起因する問題が、今日の福祉国家的な経済システム運営上、無視できない課題になっている。しかし従来の経済理論では、このような市場の失敗問題や分配の不正問題には分類され得ない種類の社会問題は、十分に体系的な理論的研究がされてきたとは言い難い。その理由の1つは、市場の失敗や分配的不正問題以外の、市場経済に付随する諸問題を論ずる概念装置が十分に整備されてこなかったという点があげられる。しかし、近年の政治哲学や社会学等の先端的研究成果から学ぶ事により、市場経済に付随する負の諸問題を理論的に定式化し、経済学による数理的分析の可能性が開けてきたと言える。

「脆弱性」という概念を用いた経済分析は、これまでも環境経済学や開発経済学などにおいて存在してきた。しかし、その場合の脆弱性とは、政治哲学の最新の研究成果に基づく、「絶対的脆弱性」に相当する。絶対的脆弱性とは、何らかの厚生的な喪失が生じるリスクに晒される状況を指している。しかし、Vrousalis (参考文献1)に拠れば、他に「関係的脆弱性」と言うべき範疇がある。関係的脆弱性とは、ある個人ないしは集団が別の個人ないしは集団に対して力関係的に弱い立場にある状況を指す。それは、前者が後者は享受している経済的便益なりニーズの充足条件を欠いていて、かつその充足可能性が後者の決定力(decisive power)の範疇にある様な状況である。経済的な論脈に限定すれば、それは社会学者の Eric Ohlin Wright (参考文献2)の言うところの「逆相依存的厚生原理」と「排除原理」の2つの条件で特徴づけられる社会関係にはほぼ対応するだろう。逆相依存的厚生原理とは、ある集団・個人の経済厚生上の優遇さは他の集団・個人経済厚生上の不遇さに依存している状況を指す。排除原理とは、上記の優遇な立場の集団・個人がアクセス可能な経済的資源・地位などへのアクセスから、不遇な立場の集団・個人が排除されている状況を指す。関係的脆弱性概念によって説明され得る市場経済の負の問題としては、社会学や政治学の分野で、現代の福祉国家社会の問題として言及される様々な形態での社会的排除(social exclusion)の問題が上げられる。また、南北問題や労働問題の論脈で市場経済システムについて批判的に論じられる際に、依然としてしばしば言及される労働搾取(labor exploitation)の問題が上げられる。Wright (参

考文献2)は両者を広い意味での経済的抑圧(economic oppression)の問題として範疇化し、前者を特に、非搾取的経済的抑圧と呼んで、後者との特徴の違いを明示化している。

2. 研究の目的

市場経済システムに付随する経済的脆弱性・経済的抑圧の問題に関する包括的・原理的な経済理論的研究を行う。最新の政治哲学・社会学の研究動向を踏まえ、経済的脆弱性概念を、絶対的脆弱性と関係的脆弱性に分類し、後者を更に、搾取的経済的抑圧問題と非搾取的経済的抑圧問題に分類する。絶対的脆弱性に関わる問題として、心身障害者のニーズ充足の欠落リスク、及び、自然災害下の被災者たちの基本的ニーズ欠如の問題を考察し、それぞれ脆弱性を除去する保障メカニズムの可能性を探求する。非搾取的な関係的脆弱性に関する問題として、市場経済システム下での「社会的排除」の原理的な生成メカニズムについて考察する。また、搾取的経済的抑圧の問題を評価する妥当な測度についての公理的分析を行う。

(参考文献1)

Vrousalis, N., 2013. Exploitation, Vulnerability, and Social Domination, *Philosophy and Public Affairs* 41, pp. 131-157.

(参考文献2)

Wright, E.O., 2013. Class, Exploitation, and Economic Rents: Reflections on Sorensen's 'Sounder Basis', *The American Journal of Sociology* 105, pp. 1559-1571.

3. 研究の方法

市場経済システムの発展に付随的な現象として見出される経済的脆弱性問題の4タイプについて、従来の標準的ミクロ経済理論の枠組みを拡張しつつ、理論的に分析した。(1)心身障害者のニーズ充足に関する絶対的脆弱性問題は、アマルティア・セン流の非完備的社会的決定関数アプローチを採用した。(2)災害被災者の基本的ニーズに関する絶対的脆弱性問題は、請求問題に関するメカニズム・デザイン論の発展的アプローチを採用した。(3)非搾取的経済的抑圧問題については、一般均衡理論の基本的枠組みを拡張し、市場経済の外部に存在する主体の存在を明示化させた経済均衡概念の提起を行い、とりわけ社会的排除の存在可能性について、理論分析を行った。(4)搾取問題に関しては、動学的一般均衡論的枠組みの下で、公理的分析を中心に行った。

4. 研究成果

市場経済システム下での経済的抑圧問題を搾取的問題と「社会的排除」問題とに概念的に区別する必要性について言及するサー

ベイ論文を *Journal of Economic Survey* 誌に公開した。また、妥当な搾取の定義についての哲学的背景を明らかにした論文が、*Economics and Philosophy* 誌にアクセプトされた。妥当な搾取測度の公理的研究に関しては、異質労働の存在する生産経済の論脈で再構成する研究論文が、*Cambridge Journal of Economics* 誌に公開された。また、異時点間資源配分問題の論脈で妥当な搾取測度の公理的特徴づけを再構成する論文が、*Social Choice and Welfare* 誌に公開された。また、国際貿易問題の論脈で生ずる先進国-途上国間の不等価交換問題として指摘される搾取関係の継起性に関する動学的一般均衡論的分析の研究論文を、ディスカッション・ペーパーとして完成させた。

社会的な不遇優先性基準と平等主義的処遇の基準との原理的緊張関係に関する研究として、多元的なベーシックニーズを全ての市民に保証する社会的選択ルールの可能性を示した研究論文を完成させ、現在、*Review of Social Economy* 誌に投稿し、改訂・再投稿の依頼に基づいての改訂・再投稿作業を行い、ジャーナルからの最終返事を待つ状態にある。

合理的経済人モデルに還元されない倫理的な選好を持つ個人の存在する社会における衡平な資源配分の分権的遂行可能性に関する論文の1本が *International Journal of Game Theory* 誌に公開され、もう1本が *Games and Economic Behavior* 誌にアクセプトされた。

また、「不変の価値尺度」機能に関する理論分析研究を、現在、*Structural Change and Economic Dynamics* 誌に投稿し、改訂・再投稿の依頼に基づいての改訂・再投稿作業を行い、ジャーナルからの最終返事を待つ状態にある。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計15件)

- (1). Naoki Yoshihara and Roberto Veneziani, "The theory of exploitation as the unequal exchange of labour", forthcoming in *Economics and Philosophy*, 査読有.
- (2). Naoki Yoshihara and Michele Lombardi, "Treading a fine line: (Im)possibilities for Nash implementation with partially-honest individuals," forthcoming in *Games and Economic Behavior*, 査読有.
- (3). Reiko Gotoh, "What political liberalism and the welfare state left behind: chance and gratitude", Hans-Uwe Otto, M. Walker and H. Ziegler (eds.), *Capability Promoting Policies Enhancing individual and social development*, Policy Press, pp. 23-41, 2018, 査読有.
- (4). 後藤玲子・小林秀行「潜在能力アプロー

チに基づく医療サービスの測定と評価」, *経済研究* 69-1, pp. 75-92, 2018年、査読有。

- (5). Naoki Yoshihara and Roberto Veneziani, "Globalisation and Inequality in a Dynamic Economy: An Axiomatic Analysis of Unequal Exchange", *Social Choice and Welfare* 49, December 2017, pp. 445-468, 査読有.
- (6). Naoki Yoshihara and Michele Lombardi, "Natural Implementation with Semi-responsible Agents in Pure Exchange Economies," *International Journal of Game Theory* 46, November 2017, pp. 1015-1036, 査読有.
- (7). Naoki Yoshihara and Roberto Veneziani, "One Million Miles to Go: Taking the Axiomatic Road to Defining Exploitation," *Cambridge Journal of Economics* 41, September 2017, pp. 1607-1626, 査読有.
- (8). Naoki Yoshihara, "A Progress Report on Marxian Economic Theory: On the Controversies in Exploitation Theory since Okishio (1963)," *Journal of Economic Surveys* 31, pp. 632-659, 査読有.
- (9). Naoki Yoshihara, Enrico Bellino, Christian Bidard, Saverio M. Fratini, G.C. Harcourt, Arrigo Opocher, Ian Steedman, and Heinz D. Kurz, "Symposium on Arrigo Opocher and Ian Steedman (2015), Full Industry Equilibrium. A Theory of the Industrial Long Run, Cambridge: Cambridge University Press," *Metroeconomica* 68, pp. 586-624, 査読有.
- (10). Naoki Yoshihara, Jonathan F. Cogliano and Roberto Veneziani, "The Dynamics of Exploitation and Class in Accumulation Economies," *Metroeconomica* 67-2, May 2016, pp. 242-290, 査読有.
- (11). Naoki Yoshihara and Soh Kaneko, "On the Existence and Characterization of Unequal Exchange in the Free Trade Equilibrium," *Metroeconomica* 67-2, May 2016, pp. 210-241, 査読有.
- (12). 後藤玲子「自由の価値の物語り - 民主主義と死 - 」, 一橋大学経済研究所編『*経済研究*』67-2, pp. 147-163, 2016年、査読有。
- (13). Naoki Yoshihara and Roberto Veneziani, "Unequal Exchange, Assets, and Power: Recent Development in Exploitation Theory", in C. Binder et al. (eds.), *Individual and Collective choice and Social Welfare*, Studies in Choice and Welfare, Springer-Verlag Berlin Heidelberg, 2015, pp. 253-287, 査読有.
- (14). 吉原直毅「特集企画「資本主義経済システムと人類社会の持続可能性」」, *比較経済研究* 54巻1号, pp. 11-17, 査読有.
- (15). 吉原直毅「資本主義経済システムの原理

- 的安定性について」, 比較経済研究 54 巻 1 号, pp. 149-161, 査読有.
- (16). 吉原直毅・金子創「国際経済における不
等価交換」, 経済研究 67 巻 4 号, 2016 年,
pp. 289-306, 査読有.
- (17). 吉原直毅「現代経済学の継承的・批判的
発展としての現代的ポリティカル・エコ
ノミーの可能性」, 季刊経済理論 52 巻 1
号, 2015 年, pp. 36-48, 査読有.
- (18). 吉原直毅「ヘクシャー=オリーン=サミ
ュエルソン貿易理論と資本主義」(joint
with 黒瀬一弘) 『経済研究』 66 巻 2 号,
2015 年, pp. 169-189, 査読有.

〔学会発表〕(計 19 件)

- (1). Naoki Yoshihara "The theory of exploitation
as the unequal exchange of labour,"
International Workshop on Income
Distribution and Technology: Collaboration
between Sociologists and Economists,
Tohoku University, March 18, 2018.
- (2). Naoki Yoshihara "The theory of exploitation
as the unequal exchange of labour," 2nd
Annual Meeting of Philosophy, Politics, and
Economics Society, New Orleans, March 16,
2018.
- (3). Naoki Yoshihara "On the General
Impossibility of Persistent Unequal
Exchange Free Trade Equilibria in the
Pre-industrial World Economy," Annual
Meeting of Eastern Economic Association,
Boston, March 1st 2018.
- (4). Naoki Yoshihara "Sraffian Indeterminacy in
General Equilibrium Revisited," 2018
ASSA ANNUAL MEETING, Philadelphia,
Jan 6, 2018.
- (5). Naoki Yoshihara "On the Persistency of
Unequal Exchange in Free Trade Equilibria
under the Pre-Industrial Capitalist
World Economy," 制度的経済動学セミナ
ー、京都大学、2017 年 8 月 22 日.
- (6). Naoki Yoshihara "Partially-honest Nash
implementation: a full characterization,"
2017 Asian Meeting for Econometric
Society, The Chinese University of Hong
Kong, Hong Kong, June 2017.
- (7). Naoki Yoshihara "Class and Exploitation:
Technical Change, Social Norms, and
Goodwin Dynamics," Analytical Political
Economy Workshop, Queen Mary
University of London, 20 May 2017.
- (8). Reiko Gotoh "Economic Philosophy of
Amartya Sen — Social choice as public
reasoning and capability approach",
International Workshop 2017 "Economic
thought of Cambridge, Oxford, LSE and the
Transformation of the Welfare State",
March 18, 2017, Nice(France).
- (9). Naoki Yoshihara "Class and Exploitation:
Technical Change, Social Norms, and
Goodwin Dynamics," Annual Meeting of
Eastern Economic Association, New York,
25 February 2017.
- (10). Naoki Yoshihara "Technical Change,
Capital Accumulation, and Distribution,"
2016 SEA 86th Annual Meetings,
Washington, DC, 21 November 2016.
- (11). Gotoh, R. (Chair, Program Committee and
Speaker), "Crossing Logic and Ethics of
Market System--The Capability Approach
with Amartya Sen's Social Choice and
Welfare Economics--", JSPS Special
Seminar for "International Collaboration for
Formulating Trans-Positional Capability
Index", Hitotsubashi University, August 31,
2016.
- (12). Naoki Yoshihara "Partially-honest Nash
implementation with non-connected honesty
standards," 5th World Congress of the
Game Theory Society, Maastricht The
Netherlands, 27 July 2016.
- (13). Naoki Yoshihara "Globalisation and
Inequality: A Dynamic General Equilibrium
Model of Unequal Exchange," 13th
Meeting of the Society for Social Choice
and Welfare, Lund University, Sweden, 28
June 2016.
- (14). Naoki Yoshihara "On Emergence and
Persistency of Unequal Exchange Free
Trade Equilibria in the Pre-industrial
Capitalist World Economy," 日本経済学会
2016 春季大会、名古屋大学東山キャンパ
ス、2016 年 6 月 18 日.
- (15). Naoki Yoshihara "Technical Change,
Capital Accumulation, and Distribution,"
International Seminar on Political Economy
in Toyama 2016、富山大学、2016 年 2 月
15 日.
- (16). Naoki Yoshihara
"Heckscher-Ohlin-Samuelson Trade Theory
and Capital Theory," 2016 ASSA
ANNUAL MEETING, San Francisco, 3
January 2016.
- (17). Naoki Yoshihara "Technical change, capital
accumulation, and distribution," Workshop
on Analytical Political Economy、東北大学、
2015 年 11 月 24 日.
- (18). Naoki Yoshihara "Technical change, capital
accumulation, and distribution," 制度的経
済動学研究会、京都大学、2015 年 7 月
11 日.
- (19). Naoki Yoshihara "Technical change, capital
accumulation, and distribution," Social
Welfare, Justice and Distribution, Queen
Mary University of London, 20 June 2015.
- (20). Naoki Yoshihara "Partially Honest Nash
Implementation with Non-coordinated
Honesty Standards," Seminar at Sogang
University, Sogang University, 4 June 2015.
- (21). Naoki Yoshihara "Technical Change,

Capital Accumulation, and Distribution, "
Seminar at Seoul National University, Seoul
National University, 2 June 2015.

〔図書〕(計2件)

- (1). 後藤玲子 『潜在能力アプローチ--倫理と
経済--』、岩波書店、244 頁、2017 年 3 月。
- (2). 吉原直毅 『資本主義経済システムの展
望』(岩波講座 現代 第 3 巻)(joint with
諸富徹,平井俊顕,鍋島直樹,大黒弘慈,
伊藤邦武,武石彰,松下冽,篠田剛,宮
本章史) 岩波書店、pp. 231-258, 2016 年
2 月。

6. 研究組織

(1)研究代表者

吉原 直毅 (YOSHIHARA NAOKI)
高知工科大学・経済・マネジメント学群・
客員教授
研究者番号：60272770

(2)研究分担者

後藤 玲子 (GOTOH Reiko)
一橋大学・経済研究所・教授
研究者番号：70272771